

国保坂下病院と美濃市立美濃病院（同規模黒字病院）との比較

美濃病院と比べて

1. 坂下病院の収益率が悪い要因のひとつは、一般病床（急性期）を有しているのに DPC 対象病院でない事が考えられる。

もうひとつの要因として、診療報酬単価が低いため、急性期の患者が少なく慢性期の患者が多い事が考えられる。

※患者 1 人 1 日当りの診療報酬（単価）の違いから（表 1 の①単価等 参照）

	入院単価
坂下病院	25,723 円
美濃病院	38,454 円
差	▲12,731 円

※中津川市民病院の入院単価は 48,232 円

※DPCとは

- ・DPC とは診断群分類（病名）に基づく 1 日当たり定額報酬算定制度です。
- ・出来高支払方式と DPC の違い

【出来高支払方式】診察・検査・注射など一つ一つの診療内容を積み上げて計算する方式。

【DPC】病名をもとに、1 日当たりの金額からなる包括評価部分（注射・投薬・処置・検査・画像診断・入院基本料 等）と出来高評価部分（手術・麻酔・心臓カテーテル・内視鏡検査・リハビリ 等）を組み合わせて医療費を計算する方式。急性期医療に取り組んでいる病院の多くは、DPC 方式が適用されています。

<メリット> 出来高払い方式よりも収益性が高まる。

- ・中津川市民病院

中津川市民病院では、平成 21 年度に DPC 対象病院への移行による入院治療の標準化、入院単価の増加、経費の削減など積極的に改革を進めてきた。このような改革を進めてきたことにより、平成 24 年度には単年度黒字化が計上できた。その後、大きな赤字計上はなく、平成 27 年度も黒字計上ができた。

- ・美濃市立美濃病院（経営安定化プランより）

経営の安定化を図る為に国保坂下病院と同規模の美濃市立美濃病院では、平成 21 年度に DPC 対象病院への移行による入院治療の標準化、亜急性期病床（後の地域包括ケア病棟）の増床による病床運営の効率化、後発医薬品への転化促進による経費の削減など積極的に改革を進めてきた。（省略）このような改革を進めてきたことにより、平成 21 年度から単年度黒字化が計上できた。

2. 職員給与費が全体的に高い（表 1 の②職員給与 参照）

3. 人件費率等費用が高い（表 1 の⑥医業収益に対する割合 参照）

まとめ

- ①DPC 対象病院でないため、収益率が低い
- ②急性期患者が少ない
- ③費用に応じた収益を得られていない

表1 平成26年度公営企業年鑑 総務省より

		中津川市	美濃市	(差)	国保坂下病院と美濃市立美濃病院との比較
		国保坂下病院	市立美濃病院	坂下病院-美濃病院	
病床数〔床〕		199	122	(77)	
一般	一般病床数	110	77	(▲12)	■病床規模は、ほぼ同規模 ■回復期病床：地域包括ケア病床 ■慢性期病床：医療型療養病床
	回復期病床数		45		
療養	慢性期病床数	50		(50)	
	休床病床数	39		(39)	
支払い方式		出来高	DPC		■美濃病院はDPC支払方式を導入
看護配置基準		10対1	10対1		
健診・透析・訪問看護サービス		あり			
経常利益又は経常損失〔千円〕		▲ 255,070	161,234	(▲416,304)	
一般会計からの繰り入れ金額〔千円〕		558,273	215,730	(342,543)	
①単価等					
患者1人1日当たり診療収入					
	入院(円)	25,723	38,454	(▲12,731)	■坂下病院は入院単価が12,731円低い(DPC・導入していない) ■坂下病院は外来単価が2,153円低い ■病床利用率が坂下病院64%に対して美濃病院88%(患者数の差)
	外来(円)	7,889	10,042	(▲2,153)	
	病床利用率(一般)(%)	64	88	(▲23)	
	平均在院日数(一般)(日)	18	14	(4)	
②職員給与					
医師 基本給		519,926	495,115	(24,811)	■看護師平均経験年数 坂下病院19年,美濃病院10年
手当		1,063,789	883,503	(180,286)	
平均年齢		49	49		
看護師 基本給		300,470	259,967	(40,503)	
手当		164,840	158,003	(6,837)	
平均年齢		42	42		
③職員1人1日当たり患者数(人)					
医師					■国保坂下病院は医師1人あたりの患者数が多い。特に外来患者数は約2倍。 ■看護部は差が無い。
	入院	10.6	6.6	(4.0)	
	外来	23.1	12.2	(10.9)	
看護部門				(0.0)	
	入院	1.0	1.1	(▲0.1)	
	外来	2.2	2.0	(0.2)	
④100床当たり職員数(人)					
医師		7.2	10.7	(▲3.5)	
看護部門職員		73.3	72.1	(1.2)	
薬剤部門職員		2.2	3.3	(▲1.1)	
事務部門職員		7.2	7.4	(▲0.2)	
臨床検査部門職員		3.3	3.3	(0.0)	
全職員		106.1	113.7	(▲7.6)	
⑤職員1人1日当たり診療収入〔千円〕					
医師		454.2	377.9	(76.3)	
看護部門		42.8	61.4	(▲18.6)	
⑥医療収益に対する割合〔%〕					
職員給与と費		57.7	47.5	(10.2)	■国保坂下病院は収入に対して、各費用がかかりすぎている。
医療材料費		15.3	14.1	(1.2)	
支払利息		3.1	1.9	(1.2)	
減価償却費		11.2	8.8	(2.4)	
光熱水費		2.9	2.0	(0.9)	
委託料		14.6	10.6	(4.0)	
費用合計		134.6	96.6	(38.0)	